

科目名 (英)	生涯スポーツ	必修 選択	必修	年次	1	担当教員	佐藤一樹
	(Lifelong Sports)	授業 形態	演習	総時間 (単位)	15 (1)	開講区分	集中
学科・コース	こども保育科						
教員の略歴	仙台大学大学院修士課程修了、pyq@ed上級使用が医師や福祉センター副所長、障がい者スポーツ指導員、障がい者フライングディスク第1種審判員						
授業の学習内容	将来保育者としてこどもの発育に係わる発達や、こどもの年齢に合わせた運動および指導法を理解する。 また、生涯を通じて継続的に自主的にかつ強力的に運動を実践するための知識や態度を養うことによって、 明るく豊かで心身ともに健康な生活を営むための知識や実践を交え学ぶ						
到達目標	<ul style="list-style-type: none"> ・様々な動きを体験を踏まえ効果を理解する ・体験を踏まえゲームを考案する ・考案したゲームを実践し、改善点をみつけより現場で実践できるよう工夫する 						
評価方法と基準	授業内評価(30%)、実技試験(70%)						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1	8月17日	演習	オリエンテーション・アイスブレイクを実践する	学習内容を理解する
2	8月17日	演習	カラーマーカーを使用したオセロゲームを実践する	学習内容を理解する
3	8月17日	演習	ネイチャーゲーム(色あわせ)を実践する	学習内容を理解する
4	8月17日	演習	ネイチャーゲーム(ネイチャービンゴ)を実践する	学習内容を理解する
5	8月17日	演習	ネイチャーゲーム(ネイチャーフォト)を実践する	学習内容を理解する
6	8月24日	演習	ネイチャーゲーム(ネイチャーフォト)を実践する	学習内容を理解する
7	8月24日	演習	ネイチャーゲーム(ネイチャーフォト)を実践する	学習内容を理解する
8	8月24日	演習	新聞紙を使った運動を実践する	学習内容を理解する
9	8月24日	演習	新聞紙を使った運動を実践する	学習内容を理解する
10	8月24日	演習	新聞ボールづくりを実践する	学習内容を理解する
11	8月31日	演習	新聞ボールづくりを実践する	学習内容を理解する
12	8月31日	演習	転がしドッチボールを実践する	学習内容を理解する
13	8月31日	演習	転がしドッチボールを発展させる	学習内容を理解する
14	8月31日	演習	ドッチボールを実践する	学習内容を理解する
15	8月31日	演習	ドッチボールを実践する	学習内容を理解する
準備学習 時間外学習			学習内容を理解する	
【使用教科書・教材・参考書】 <input type="checkbox"/>				
適宜資料を配布する				

科目名 (英)	情報処理入門 I (Information Processing Introduction I)	必修 選択	必修	年次	1	担当教員	阿部 かざみ
		授業 形態	演習	総時間 (単位)	30 2	開講区分	前期 金曜・2限
学科・コース	こども保育科						
教員の略歴	Word・Excel・PowerPointの操作方法を専門学校・PCスクール・企業研修・就職支援などで指導						
授業の学習内容	現代では業種・職種を問わず社会生活に必須となっているパソコンのスキルが求められています。シェアが90%を超えているWindows系のOfficeを実技を中心として学び、職場での活用技術を身に着ける。 業務の報告書の作成、チェック表の作成分析、お便りなどの資料作りなど。 保育士として必要なパソコンスキルを学ぶ。						
到達目標	Word・Excel・PowerPointの基本操作、効率の良い使用方法、また、実務例に基づいたレポート・資料などの作成ができるレベルを目指す						
評価方法と基準	実技試験70% 授業内評価30%						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1	10月2日	講義	SNSを使用する上での注意点を学ぶ	
2	10月9日	演習	効率のよい入力方法を覚える	準備学習
3	10月16日	演習	Wordの基本編集機能を操作できる	Windowsの基本操作（日本語入力・マウス操作・キーボード操作）やファイル・フォルダーの扱い（作成・移動・コピーなど）ができる方が望ましい
4	10月23日	演習	ビジネス文書の基本ルールを覚える	
5	10月30日	演習	表を作成・編集できる	
6	11月6日	演習	インパクトのある文字を作成できる	
7	11月13日	演習	図や図形を挿入できる	
8	11月20日	演習	印刷の設定ができる	
9	11月27日	演習	四則演算ができる	
10	12月4日	演習	簡単な関数や、参照方法ができる	積み重ね授業になるので、授業終了後は復習をし、確実に次の時間に活かせることが望ましい
11	12月11日	演習	表を編集し、印刷設定ができる	
12	12月18日	演習	円グラフ・棒グラフを作成できる	
13	1月8日	演習	複合グラフを作成できる	
14	1月15日	演習	シートの操作やシート間の計算ができる	
15	1月22日	演習	実技試験/試験解説	
準備学習 時間外学習			パソコン操作に慣れるためにも時間外にも報告書・課題などパソコンを使用して作成してほしい	
【使用教科書・教材・参考書】 □				
滋慶出版社 Word2010・Excel2010				

科目名 (英)	情報処理入門 I (Information Processing Introduction I)		必修 選択	必修	年次	1	担当教員	阿部 かざみ
	学科・コース	こども保育科学科	授業 形態	演習	総時間 (単位)	15 (1)	開講区分 曜日・時限	集中
教員の略歴	Word・Excel・PowerPointの操作方法を専門学校・PCスクール・企業研修・就職支援などで指導							
授業の学習内容	プレゼンテーションツールのPowerPointをの内容の組み立て方、作成手順、資料の探しなどを学習し、他人に自分の考えを伝える効果的な方法を学ぶ。 また、学会での発表用のみではなく、提案事項・会議用ツール・ポスター作成などに活用できる必要なパソコンスキルを学ぶ。							
到達目標	PowerPointの基本操作、プレゼンテーションの流れを自分で組み立て、見栄えのするスライドを作成し、人にわかりやすく伝わる発表技術を身に付け、資料作成・電子かみしばい用ツールとして使用できるレベルを目指す							
評価方法と基準	発表技術40% 作品課題40% 授業内評価20%							

授業計画・内容								
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習	時間外学習(学習課題)			
1	1/29	実習	プレゼンテーションの基礎知識・スライドを作成する	準備学習 Word・Excelで行った、グラフィックス機能、表作成、グラフ作成などができる方が望ましい 学習課題 積み重ね授業になるので、授業終了後は復習をし、確実に次の時間に活かせることが望ましい				
2	1/29	実習	グラフィックス機能、表やグラフの挿入、アニメーション機能を理解する					
3	1/29	実習	プレゼンテーション実行、リハーサルをする					
4	1/29	実習	スライドマスター、スライドショー実行中の機能を理解する					
5	1/29	実習	作品を作成させる					
6	2/5	実習	プレゼンテーションの活用(チラシ作成)ができる					
7	2/5	実習	作品を作成させる					
8	2/5	実習	作品を作成させる					
9	2/5	実習	発衣用原稿印刷・リハーサル・最終修正ができる					
10	2/5	実習	発表をする					
11	/							
12	/							
13	/							
14	/							
15	/							
準備学習 時間外学習			パソコン操作に慣れるためにも時間外にも報告書・課題などパソコンを使用して作成してほしい					
【使用教科書・教材・参考書】 □								
滋慶出版社 PowerPoint2010								

科目名 (英)	職業人教育 (Professionals EducationI)		必修 選択	必修	年次	1年	担当教員	富樫裕一
	学科・コース	こども保育科	授業 形態	講義	総時間 (単位)	60 4	開講区分	前期
教員の略歴	宮城教育大学大学院修士課程修了、昭和52年～平成7年幼稚園教諭として勤務、その後専門学校専任教員を務め、大学・専門学校非常勤講師							
授業の学習内容	基本的日本人の人間関係の関わり方より日本の社会構造と職場に行ったときの人間関係を知る。							
到達目標	日本人の人間関係の関わり方を知り、保育所等の指導案をもとにしたロールプレイで自信をもつ							
評価方法と基準	レポート、ロールプレイ 70% 授業内評価 30%							

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1	5/14	講義	自己紹介、挨拶の基本について学ぶ	学習したことを理解する
2	5/21	講義	高橋副校長による講話を聴く	学習したことを理解する
3	5/28	講義	保育におけるコンピテンシーについて理解する	学習したことを理解する
4	6/5	講義	羽田副校長による講話を聴く	学習したことを理解する
5	6/12	講義	歓迎会をする	学習したことを理解する
6	6/19	講義	コミュニケーション・身だしなみについて学ぶ	学習したことを理解する
7	6/26	講義	社会人としての身だしなみを学ぶ	学習したことを理解する
8	7/3	講義	顔の表情と意図について理解する	学習したことを理解する
9	7/10	講義	無意識な表情としぐさは何を伝えるか学ぶ	学習したことを理解する
10	7/17	講義	科目の意味合いと学習方法について理解する	学習したことを理解する
11	7/31	講義	電話のマナー、手紙のマナーを学ぶ	学習したことを理解する
12	8/7	講義	高校の恩師に手紙を書けるようになる	学習したことを理解する
13	9/24	講義	自分の両親に手紙を書けるようになる	学習したことを理解する
14	10/2	講義	保育業界用語解説①について学ぶ	学習したことを理解する
15	10/9	講義	保育業界用語解説②について学ぶ	学習したことを理解する
16	10/16	講義	保育業界用語解説③について学ぶ	学習したことを理解する
準備学習 時間外学習				
【使用教科書・教材・参考書】 □				
保育者としての国語表現 他				

科目名 (英)	職業人教育 (Professionals EducationI)		必修 選択	必修	年次	1年	担当教員	富樫裕一
	学科・コース	こども保育科	授業 形態	講義	総時間 (単位)	60 4	開講区分	前期
教員の略歴	宮城教育大学大学院修士課程修了、昭和52年～平成7年幼稚園教諭として勤務、その後専門学校専任教員を務め、大学・専門学校非常勤講師							
授業の学習内容	挨拶、ことば遣い、手紙の書き方、文章のまとめ方など現場ですぐに必要なマナーやすきるについて、実践的に学ぶ。							
到達目標	社会人としての基本的なマナーを身につけ、対人援助職にふさわしい人間性を養う。							
評価方法と基準	定期テスト70% 授業内評価 30%							

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1	10/30	講義	保育者としてよい国語表現のために学ぶ	学習したことを理解する
2	11/6	講義	会話表現(基礎編)を学ぶ	学習したことを理解する
3	11/13	講義	会話表現(応用編)1～3を学ぶ	学習したことを理解する
4	11/20	講義	会話表現(応用編)4～8を学ぶ	学習したことを理解する
5	11/27	講義	文章表現(基礎編)1～4を学ぶ	学習したことを理解する
6	12/4	講義	文章表現(応用編)1～4を学ぶ	学習したことを理解する
7	12/11	講義	文章表現(応用編)5～8を学ぶ	学習したことを理解する
8	12/18	講義	演習問題1～12を学ぶ	学習したことを理解する
9	1/8	講義	演習問題13～24を学ぶ	学習したことを理解する
10	1/15	講義	天声人語①～③を学ぶ	学習したことを理解する
11	1/22	講義	天声人語④～⑥を学ぶ	学習したことを理解する
12	2/12	講義	天声人語⑦～⑨を学ぶ	学習したことを理解する
13	2/19	講義	天声人語⑩～⑬を学ぶ	学習したことを理解する
14	2/16	講義	天声人語⑭～⑮ 試験、まとめ	学習したことを理解する
15				
準備学習 時間外学習				
【使用教科書・教材・参考書】□ 保育者としての国語表現 他				

科目名 (英)	幼児と音楽表現 ()		必修 選択	必修	年次	1	担当教員	富樫範子
	学科・コース	こども保育科	授業 形態	演習	総時間 (単位)	15 (1)	開講区分	後期・集中 曜日・時限
教員の略歴	国立音楽大学卒業後、幼稚園教諭、知的障害者施設の音楽講師を務める。							
授業の学習内容	保育現場で活かすことのできる音楽技術の習得							
到達目標	保育者として子どもに歌い聴かせるための声楽の基礎を学ぶとともに、基本歴な音楽理論を理解する。 弾き歌いに必要となる鍵盤楽器の基礎を身につける。							
評価方法と基準	授業内評価(20%) 課題の到達度(40%) 実技試験(40%)							

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1	2/10	演習	・発声のメカニズムと発声法 ・ピアノ伴奏の役割について理解する	内容を理解し、音楽表現の向上と表現方法を検討する
2	2/10	演習	記録表 ピアノ①の確認をする	内容を理解し、音楽表現の向上と表現方法を検討する
3	2/10	演習	記録表 声楽の設題1・2・3ができる	内容を理解し、音楽表現の向上と表現方法を検討する
4	2/10	演習	記録表 ピアノ②の練習をする	内容を理解し、音楽表現の向上と表現方法を検討する
5	2/10	演習	記録表 ピアノ②の練習をする	内容を理解し、音楽表現の向上と表現方法を検討する
6	2/17	演習	記録表 ピアノ②の練習をする	内容を理解し、音楽表現の向上と表現方法を検討する
7	2/17	演習	記録表 声楽 設題4・5ができる	内容を理解し、音楽表現の向上と表現方法を検討する
8	2/17	演習	記録表 ピアノ②の練習をする	内容を理解し、音楽表現の向上と表現方法を検討する
9	2/17	演習	試験課題発表し練習する	内容を理解し、音楽表現の向上と表現方法を検討する
10	2/17	演習	実技試験	内容を理解し、音楽表現の向上と表現方法を検討する
11	/			
12	/			
13	/			
14	/			
15	/			
準備学習 時間外学習			記録表 ピアノ①が終了していること	
【使用教科書・教材・参考書】 音楽 ピアノ教本 声楽教本				

科目名 (英)	教育心理学 (Educational Psychology)	必修 選択	必修	年次	1	担当教員	江崎 浩明
学科・コース	こども保育科	授業 形態	講義	総時間 (単位)	15 (1)	開講区分 曜日・時限	集中
教員の略歴	大学院にて心理学を専攻。その後、産業・学校・医療領域にて約15年間、教育、相談業務に従事。						
授業の学習内容	心理学の成り立ちや基礎的な心理学用語・概念を学ぶことで、多くの人が持つ誤解や偏見から脱し、人が持つ考え方や捉え方の特徴について学びます。子どもと親をはじめ、ありとあらゆる人間関係の基本である2者間の心理的距離感について、さまざまなケースを知り、その多様性を学びます。また、自分自身を支える一つの柱として心理学的な視点を養います。						
到達目標	心理学の歴史や他の周辺領域との関連性、用語や概念を学術的基盤に則って学ぶことにより、雑学的な知識ではなく人間を理解する一助としての基礎心理学について理解する。 これらの学びを、客観的な自己把握・自己理解のために用いることができるようになる。 他者を主観的又は好き嫌いの感情的な枠組のみで捉えるのではなく、特に自分と考えや行動が異なる場合、知的的好奇心や興味関心を持ち、客観的な枠組みで捉えることができるようになる。						
評価方法と基準	1. 定期試験100%(選択式と記述式)						

授業計画・内容					
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習	時間外学習(学習課題)
1	2月12日	講義	基礎心理学のおさらい 基礎的心理用語や概念の理解度チェックをおこなう。		基礎的な心理学用語・概念を思い出しておく。
2	2月12日	講義	こどもとの距離感 嫉・過干渉・過保護・ネグレクトなど、親と子の適切な距離感について理解		自分や友人の家族における親子関係・距離感・干渉度合いについて考えておく。
3	2月12日	講義	教育的観点とは かかわり方の違いによる自主性獲得の有無について理解する。		何かを教わる際に、どのように教わったときが最も理解しやすく抵抗無く習得できたかについて考
4	2月12日	講義	育児・教育における恐怖喚起 市場による脅迫的教育戦略の危険性について理解する。		自分が持つ”こうであらねばならない”には何があるか考えておく。
5	2月12日	講義	学校の特殊性 一斉教育、校則の厳格化等、画一化のメリットとデメリットについて理解する。		小中高校の学生生活や生徒指導・校則の良かったと納得がいかなかった点について考えておく。
6	2月19日	講義	学習効果 目標設定と学習に対する効果が現れるまでの期間の個別性について理解する。		何かが上手になる時の時間とスキルアップの関係について、思い返しておく。
7	2月19日	講義	記憶 記憶の種類と分類・定着のさせ方について理解する。		自分なりの記憶の方法や、忘れてしまうことが多いことについて考えておく。
8	2月19日	講義	認知 物事の捉え方・視点等、ある物事に対するイメージについて理解する。		自分と他者とで、何かに対するイメージが異なるものを考えておく。
9	2月19日	講義	多様性の提示 正解の無い問いに対する多様な視点の重要性を理解する。		正解の無い問いに遭遇したさい、採取的にはどのような決め方を行なうかについて考えておく。
10	2月19日	講義	総復習		これまで学んだ概念や用語の総復習
11	/				
12	/				
13	/				
14	/				
15	/				
準備学習 時間外学習			学んだ概念を、日々の生活で感じ・思い返して復習してください。		
【使用教科書・教材・参考書】 □					
保育に生かす教育心理学 伊藤健次 編 (株)みらい					

科目名 (英)	幼児の心理学 (Psychology of infant)	必修 選択	必修	年次	1	担当教員	江崎 浩明
学科・コース	こども保育科	授業 形態	演習	総時間 (単位)	15 1	開講区分	後期 曜日・時限 火曜・4限
教員の略歴	大学院にて心理学を専攻。その後、産業・学校・医療領域にて約15年間、教育、相談業務に従事。						
授業の学習内容	幼児の心理学を学ぶ大前提である心理学の成り立ちや基礎的な心理学用語・概念を学び、その後、人が持つ考え方や捉え方の特徴について学びます。特に、幼児期からの関わりが、後の人格形成や積極的に物事に取り組むようになるか否かに大きな影響を与えるため、適切な関わり方について学びます。また、自分自身を支える一つの柱として心理学的な視点を養います。						
到達目標	心理学の歴史や他の周辺領域との関連性、用語や概念を学術的基盤に則って学ぶことにより、雑学的な知識ではなく人間を理解する一助としての基礎心理学について理解する。 こども特有の物事の捉え方(認知)や人格形成にかかわる環境要因を理解する。						
評価方法と基準	1. 定期試験100%(選択式と記述式)						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1	1月7日	講義	オリエンテーション 心理学の誤解と偏見について理解する。	心理学に対するイメージを考えておく
2	1月14日	講義	心理学の種類と分類 基礎心理学と応用心理学の違いについて理解する。	心理学が誤用・悪用されている例を考えておく
3	1月21日	講義	心理学の歴史 哲学からの独立やその後の広がりについて理解する。	〇〇心理学の〇〇に入りそうな言葉を考えておく 哲学や倫理学などの周辺学問との違いについて考察しておく
4	1月28日	講義	学習 何かを経験する前と後で思考や行動が変化することを理解する。	これまでの勉強や学習の方法について考えておく
5	2月4日	講義	記憶 記憶の種類と分類・時間的変遷や、定着させる為の方法・忘却について理解する。	自分の得意な記憶と苦手な記憶、考えなくても半自動的に動ける体の記憶について考えておく
6	2月18日	講義	動機づけ やる気の創出や持続、“やらされる”ことと“やりたい”の違いについて理解する。	これまでに挫折したことや、「自分にはどうせ〇〇はできない」と思っている事を考えておく。
7	2月18日	講義	性格 性格と気質の違いや、形成要因、変容させるための要件について理解する。	自分自身の嫌いな性格的側面や変えたい考え方や捉え方について考えておく
8	2月25日	講義	知能 知能の構成要素や形成要因、創造性・適応力について理解する。	頭がいいとはどういうことか、正解の無い問題に対して今までどう対処してきたかを思い出しておく
9	/			
10	/			
11	/			
12	/			
13	/			
14	/			
15	/			
準備学習 時間外学習			学んだ概念を、日々の生活で感じ・思い返して復習してください。	
【使用教科書・教材・参考書】 □				
保育に生かす教育心理学 伊藤健次 編 (株)みらい				

科目名		健康(指導法) (Health Method of Teaching)		必修 選択	必修	年次	1	担当教員	安藤 正樹
学科・コース		こども保育科		授業 形態	講義	総時間 (単位)	15 (1)	開講区分	集中
教員の略歴		平成2年宮城教育大学修士課程修了、昭和52年～平成7年幼稚園勤務、専門学校専任教員及び大学非常勤講師							
授業の学習内容		子どもが健康な心と体を育て、自ら健康で安全な生活を作り出す力を養うために、保育者として必要な技術と知識について演習形式での授業を実施する。子どもがのびのびと活動し、進んで運動したりする意欲が育つようにするための援助の在り方、望ましい遊びの環境、保育の展開の仕方などについて学ぶ。							
到達目標		<ul style="list-style-type: none"> ・保育内容指導法「健康」に関して、保育者として必要な技術と知識の習得できる。 ・子どもの心身発達の特徴、発達段階に応じた指導・援助について理解できる。 ・保育者の役割と情報機器・教材の活用、指導案作成の仕方について理解できる。 							
評価方法と基準		授業中のレポート(30%)、実技試験(30%)、授業内評価(40%)(時間外での体得練習等を含む)で評価する。							
授業計画・内容									
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習	時間外学習(学習課題)				
1	7月11日	講義	幼児教育の基本、健康の定義が分かる	授業内容の復習、	次回の準備				
2	7月11日	講義	スキャモンの発育曲線が理解できる。	授業内容の復習、	次回の準備				
3	7月11日	講義	体格、体型、骨の成長が理解できる。	授業内容の復習、	次回の準備				
4	7月11日	講義と演習	折り紙を使った遊びが実践できる。	実践の復習、	次回の準備				
5	7月11日	講義	子どもの心身の問題が把握できる。	授業内容の復習、	次回の準備				
6	7月18日	講義	子どもの運動能力の問題が分かる。	授業内容の復習、	次回の準備				
7	7月18日	講義と演習	独楽回し遊びの基本が実践できる。	実践の復習、	次回の準備				
8	7月18日	講義と演習	独楽回し遊びの多くの技ができる。	実践の復習、	次回の準備				
9	7月18日	講義	指導案の作成、模擬保育ができる。	授業内容の復習、	次回の準備				
10	7月18日	講義	保育者の役割をまとめることができる。	授業内容の復習					
11									
12	／								
13	／								
14	／								
15	／								
準備学習 時間外学習			それぞれの時間の講義・演習内容を復習し、次回の準備ができる。						
【使用教科書・教材・参考書】									
『子どもの元気を取り戻す保育内容「健康」』池田裕恵編著(杏林書院) 『独楽・こま』全日本独楽回しの会監修(文溪堂)									

科目名 (英)	人間関係(指導法) (Human Relations(Method of Teaching))	必修 選択	必修	年次	1	担当教員	香曾我部 琢
学科・コース	こども保育科	授業 形態	講義	総時間 (単位)	15(1)	開講区分	集中
教員の略歴	東北大学大学院博士課程修了、小学校高教諭・山形大学付属幼稚園勤務後大学の講師を経て、平成25年から現在まで宮城教育大学にて勤務。						
授業の学習内容	人との豊かな関わりを育てる保育者としての役割と視点について理解できる。						
到達目標	乳幼児における「人と関わる力」の育ちの過程を理解する。 「人と関わる力」がひとり一人の生きる力を支えていくことを認識し、保育者の役割を理解する。 保護者との人間関係、保育者同士の人間関係の重要性を理解する。						
評価方法と基準	授業の振り返りシート(20%)、授業内評価(20%)						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1	9月10日	講義	オリエンテーションにて人間関係」とは何か学ぶ	学習内容を理解する
2	9月10日	講義	現代における親子・きょうだい・地域の子ども同士の関わりについて学ぶ	学習内容を理解する
3	9月10日	講義	養育者との信頼関係について学ぶ	学習内容を理解する
4	9月10日	講義	身近な人と育む人間関係について学ぶ	学習内容を理解する
5	9月10日	講義	遊びや生活の中で育つ人間関係について学ぶ	学習内容を理解する
6	9月11日	講義	一緒に活動する楽しさを味わう	学習内容を理解する
7	9月11日	講義	個と集団の育ちからみた「人と関わる力」について学ぶ	学習内容を理解する
8	9月11日	講義	人間関係を通して育つ協同性について学ぶ	学習内容を理解する
9	9月11日	講義	言葉を通じて深まる人間関係について学ぶ	学習内容を理解する
10	9月11日	講義	人間関係を通して芽生える規範意識・道徳性について学ぶ	学習内容を理解する
11				
12				
13				
14				
15				
準備学習 時間外学習			学習内容を理解する	
【使用教科書・教材・参考書】 □				
適宜資料を配布				

科目名 (英)	音楽表現(指導法) (Music Representation(Method of Teaching))		必修 選択	必修	年次	1	担当教員	富樫 範子
	学科・コース	こども保育科	授業 形態	演習	総時間 (単位)	15 (1)	開講区分	前期・集中 曜日・時限
教員の略歴	国立音楽大学卒業後、幼稚園教諭を経てサンリツ、ヤマハ、知的障害者通所施設等でピアノ講師をしている。							
授業の学習内容	音・音楽による表現を主として、言葉・絵や文字・動きによる様々な表現を経験しながら、手遊びなど月齢・年齢に応じた音楽あそびについて理解する。							
到達目標	いろいろな音楽表現を体験し、保育現場で柔軟性に富んだ表現方法と指導法を理解する。							
評価方法と基準	授業内評価(20%) 実技試験(60%)							

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1	9/9	演習	音による自己表現を学ぶ	授業内容を理解し、恥ずかしがらずに自己表現をする。
2	9/9	演習	動きのある音楽遊び、リズム遊びができるようになる	授業内容を理解し、恥ずかしがらずに自己表現をする。
3	9/9	演習	様々な音楽遊びを学ぶ	授業内容を理解し、恥ずかしがらずに自己表現をする。
4	9/9	演習	手遊び、指遊び、絵描き、うたわらべうた、歌遊びができるようになる	授業内容を理解し、恥ずかしがらずに自己表現をする。
5	9/9	演習	手遊び、指遊び、絵描き、うたわらべうた、歌遊びができるようになる	授業内容を理解し、恥ずかしがらずに自己表現をする。
6	9/16	演習	教材と音楽①音楽劇の表現方法を学ぶ	授業内容を理解し、恥ずかしがらずに自己表現をする。
7	9/16	演習	教材と音楽②上演に向けての準備をする	授業内容を理解し、恥ずかしがらずに自己表現をする。
8	9/16	演習	教材と音楽③上演に向けての準備をする	授業内容を理解し、恥ずかしがらずに自己表現をする。
9	9/16	演習	教材と音楽④上演に向けての準備をする	授業内容を理解し、恥ずかしがらずに自己表現をする。
10	9/16	演習	音楽発表会(実技試験)をする	授業内容を理解し、恥ずかしがらずに自己表現をする。
11	/			
12	/			
13	/			
14	/			
15	/			
準備学習 時間外学習				
【使用教科書・教材・参考書】 保育者をめざす楽しい表現 こどものうた100、200				

科目名 (英)	環境(指導法)	必修 選択	必修	年次	1	担当教員	香曾我部琢
	(Environment Method of Teaching)	授業 形態	演習	総時間 (単位)	15 (1)	開講区分	集中
学科・コース	こども保育科						
教員の略歴	東北大学大学院博士課程修了、小学校高教諭・山形大学付属幼稚園勤務後大学の講師を経て、平成25年から現在まで宮城教育大学にて勤務。						
授業の学習内容	子どもの発達における環境の重要性や幼稚園教育における評価、小学校の科目とのつながりについて理解し、領域「環境」の狙いについて学習する。						
到達目標	領域「環境」のねらいを念頭に、様々な環境にかかわる保育の内容及び指導に関する知識・技術・ICT機器の活用法を取得する。						
評価方法と基準	「この授業(環境)で学んだこと」という課題でレポートを後日提出 70% グループ発表の内容 30%						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1	9月3日	演習	幼稚園教育の基本と領域について理解する	学習内容を理解する
2	9月3日	演習	領域「環境」の内容と指導上の留意点について理解する	学習内容を理解する
3	9月3日	演習	幼稚園教育における評価と領域について理解する	学習内容を理解する
4	9月3日	演習	領域「環境」のと小学校科目とのつながりを理解する	学習内容を理解する
5	9月3日	演習	幼児の発達・学びを意識した領域「環境」の観点からの保育構想を理解する	学習内容を理解する
6	9月4日	演習	ICT機器の活用法を学ぶ	学習内容を理解する
7	9月4日	演習	模擬保育に向けた指導案を作成する	学習内容を理解する
8	9月4日	演習	作成した指導案による実践、グループワークを行う	学習内容を理解する
9	9月4日	演習	模擬保育の振り返りを行う	学習内容を理解する
10	9月4日	演習	身近な自然、事象、地域社会にかかわる保育実践を学ぶ	学習内容を理解する
11				
12				
13				
14				
15				
準備学習 時間外学習				
【使用教科書・教材・参考書】 □ 幼稚園教育要領、保育所保育指針、幼保連携型認定こども園教育・保育要領				

科目名 (英)	言葉(指導法) (Words(Method of Teaching))		必修 選択	必修	年次	1	担当教員	富樫 裕一
	学科・コース	こども保育科	授業 形態	講義	総時間 (単位)	15 1	開講区分	集中
教員の略歴	宮城教育大学大学院修士課程修了、昭和52年～平成7年幼稚園教諭として勤務、その後専門学校専任教員を務め、大学・専門学校非常勤講師							
授業の学習内容	保育に対する基本的な考え方の確認を通して子どものことばの発達とそれに関する様々な理論について知る。また子どもたちのことばの発達に付随したわらべうた、詩などと話しことばとの違いなどについても気づく。							
到達目標	ことばの発達と理論を通して具体的各年齢において保育の中で大切にしていかなければならないことを知る。							
評価方法と基準	レポート70% 授業内評価30%							

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1	9/7	講義	自己紹介 志望の動機の確認をする	学習内容を理解する
2	9/7	講義	保育をするための基本的な考え①を理解する	学習内容を理解する
3	9/7	講義	保育をするための基本的な考え②を理解する	学習内容を理解する
4	9/7	講義	コミュニケーション理論を理解する	学習内容を理解する
5	9/7	講義	絵本深読みシリーズ①②を理解する	学習内容を理解する
6	9/14	講義	子どものことばの発達とその理論①を理解する	学習内容を理解する
7	9/14	講義	子どものことばの発達とその理論②、素話を理解する	学習内容を理解する
8	9/14	講義	子ども向けの詩とわらべうたを理解する	学習内容を理解する
9	9/14	講義	ことばに音やリズムがつくとどうなるのか学ぶ	学習内容を理解する
10	9/14	講義	絵本深読みシリーズ③まとめをする	学習内容を理解する
11	/			
12	/			
13	/			
14	/			
15	/			
準備学習 時間外学習				
【使用教科書・教材・参考書】 □				
授業内で資料を配布				

科目名 (英)	劇あそび(指導法)	必修 選択	必修	年次	1	担当教員	笹氣 真歩
	(Play method of Teaching)	授業 形態	演習	総時間 (単位)	15 (1)	開講区分	集中
学科・コース	こども保育科						
教員の略歴	音楽学院講師、リトミック研究センター講師を経て2007年より演劇企画集団LondonPANDA主宰、一般社団法人 日本演出者協会 協会員						
授業の学習内容	<ul style="list-style-type: none"> ・演劇を用いたコミュニケーション教育 講義 ・シアターゲームワークショップ その効用解説 ・創作体験ワークショップ 発表と振り返り 						
到達目標	<ul style="list-style-type: none"> ・演劇分野で構築されているコミュニケーションワークショップを体感し、構造を理解、そこから新しいプログラムを考える力を獲得する ・シアターゲームなど、アイスブレイクですぐに使えるワークを獲得する ・創作体験を通して、自身のクリエイティビティを獲得する 						
評価方法と基準	授業内評価(出席数・ティーチング実技演習含む)100%						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1	7月20日	講義・実技	応用演劇(演劇WS)の体験を理解する	授業内容を理解する
2	7月20日	講義・実技	応用演劇(演劇WS)の体験を理解する	授業内容を理解する
3	7月20日	講義・実技	創作WSの体験を理解する	授業内容を理解する
4	7月20日	実技演習	創作WSの体験を理解する	授業内容を理解する
5	7月20日	実技演習	創作WSの体験を理解し、グループで発表する	授業内容を理解する
6	7月27日	講義・実技	創作WSの体験を理解する	授業内容を理解する
7	7月27日	実技演習	グループ内で創作を進める	授業内容を理解する
8	7月27日	実技演習	グループ内で創作したものを発表する	授業内容を理解する
9	7月27日	実技演習	グループで発表する	授業内容を理解する
10	7月27日	まとめ	振り返り・フィードバックと、新しいプログラムを考えるディスカッションを実施	授業内容を理解する
11				
12				
13				
14				
15				
準備学習 時間外学習			授業内容を理解する	
【使用教科書・教材・参考書】 □				
適宜資料を配布				

科目名 (英)	保育内容総論 Childcare Contents General Remarks)	必修 選択	必修	年次	1	担当教員	齋藤 賢一
	学科・コース	こども保育科	授業 形態	講義	総時間 (単位)	15(1)	開講区分 曜日・時限
教員の略歴	兵庫教育大学大学院博士課程修了、小学校教諭を経て宮城教育大学附属幼稚園勤務後、小学校教頭						
授業の学習内容	保育をめぐる基礎知識を習得し保育実践に反映できるよう基本原理を理解することができる。						
到達目標	保育内容各論の内容について、子どもの生活・遊びの中で総合的にとらえる視点を持つことができるようになる。 指導計画の考え方を理解し、発達を見通した指導計画を作成する。 保育者の役割と援助等、保育者の専門性を理解する。						
評価方法と基準	授業内評価100%						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1	11月14日	講義	保育の構造についてについて理解する	学習内容を理解する
2	11月14日	講義	保育内容の考え方・捉え方を学ぶ	学習内容を理解する
3	11月14日	講義	乳幼児期の発達の特性と発達過程について理解する	学習内容を理解する
4	11月14日	講義	生活や遊びを通した総合的な保育を学ぶ	学習内容を理解する
5	11月14日	講義	実践事例(生活、遊び)を基にグループで討議する	学習内容を理解する
6	11月21日	講義	環境を通して行う保育を考える	学習内容を理解する
7	11月21日	講義	実践事例(環境構成)を基にグループで討議する	学習内容を理解する
8	11月21日	講義	入学前の子ども理解と子どもの生活について学ぶ	学習内容を理解する
9	11月21日	講義	支援を要する子ども理解とクラス運営について学ぶ	学習内容を理解する
10	11月21日	講義	育みたい資質・能力、および「幼児期の終わりまでに育ってほしい姿」と活動のつながりを考える	学習内容を理解する
11				
12				
13				
14				
15				
準備学習 時間外学習			学習内容を理解する	
【使用教科書・教材・参考書】 □				
適宜資料を配布				

科目名 (英)	幼児と言葉 (Infants and words)		必修 選択	必修	年次	1	担当教員	富樫裕一
	学科・コース	こども保育科	授業 形態	講義	総時間 (単位)	15 (1)	開講区分 曜日・時限	前期 木曜4限
教員の略歴	宮城教育大学大学院修士課程修了、昭和52年～平成7年幼稚園教諭として勤務、その後専門学校専任教員を務め、大学・専門学校非常勤講師							
授業の学習内容	①保育内容の5領域「言葉」に関する理解ができる ②絵本の読み聞かせの実践ができる							
到達目標	①幼児と言葉の関係性が分かる ②言葉の発達過程について理解する ③科目終末試験に合格する							
評価方法と基準	レポート(50%)、科目終末試験(50%)							

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1	5/12	オンライン講義	幼児期の言葉・発達について理解できる	学習内容を理解する
2	5/13	オンライン講義	言葉の面に表れた問題について理解できる	学習内容を理解する
3	5/21	オンライン講義	領域「言葉」の子ども力を育てるための関わり方を理解できる	学習内容を理解する
4	5/22	オンライン講義	領域「言葉」の子ども力を育てるための関わり方を理解できる	学習内容を理解する
5	5/28	オンライン講義	保育者として子どもと関わる際の留意事項について理解できる	学習内容を理解する
6	5/29	オンライン講義	レポートの作成の仕方が分かる	レポート課題(提出5/21)
7	6/5	演習	絵本の読み聞かせの実践ができる	学習内容を理解する
8	6/12	演習	絵本の読み聞かせの実践ができる	学習内容を理解する
9	/			
10	/			
11	/			
12	/			
13	/			
14	/			
15	/			
準備学習 時間外学習			科目終末試験9/6受験	
【使用教科書・教材・参考書】 □ 新保育内容シリーズ【新訂】子どもと言葉 岡田明 編				

科目名 (英)	幼児と人間関係 (Infant and human relations)		必修 選択	必修	年次	1	担当教員	香曾我部 琢
	学科・コース	こども保育科	授業 形態	講義	総時間 (単位)	15(1)	開講区分	前期 木曜・4限
教員の略歴	東北大学大学院博士課程修了、小学校高教諭・山形大学付属幼稚園勤務後大学の講師を経て、平成25年から現在まで宮城教育大学にて勤務。							
授業の学習内容	保育実践では、幼稚園教育要領や保育所保育指針をふまえることはもちろんのこと、理論に基づいて観察したり指導・援助を行うことも重要である。この授業では幼稚園教育要領や保育所保育指針に示される人間関係にまつわる事柄について、また人間関係の育ちに関わる乳幼児期の心理・社会的発達の理論の基礎を習得する。							
到達目標	領域「人間関係」とその成り立ちについて習得する。 人間関係の育ちに関わる乳幼児期の心理・社会的発達の理論の基礎を習得する。 現代社会の抱える問題に気づき、保育に求められる役割について考察し、指導計画に反映することができる。							
評価方法と基準	授業内評価と提出物によって総合的に判断する。							

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1	6月4日	オンライン講義	教育要領・保育指針における人間関係のねらいと内容について理解する	教科書の熟読をしてくる
2	6月11日	オンライン講義	領域「人間関係」の保育計画と指導、その展開について理解する	教科書の熟読をしてくる
3	6月18日	オンライン講義	0歳から2歳までの社会性の発達を学ぶ	教科書の熟読をしてくる
4	6月25日	オンライン講義	3歳から6歳までの社会性の発達を学ぶ	教科書の熟読をしてくる
5	7月2日	オンライン講義	学童期から青年期までの社会性の発達を学ぶ	教科書の熟読をしてくる
6	7月9日	オンライン講義	関係性を育む環境構成と援助の実際を理解する	教科書の熟読をしてくる
7	7月16日	オンライン講義	保護者との関係性を考える	教科書の熟読をしてくる
8	7月30日	オンライン講義	試験/解説	
9				
10				
11				
12				
13				
14				
15				
準備学習 時間外学習			教科書の熟読をしてくる	
【使用教科書・教材・参考書】 □				
社会情動的スキルを育む「保育内容 人間関係」				

科目名 (英)	幼児と環境 (Infants and the environment)	必修 選択	必修	年次	1	担当教員	香曾我部 琢
	学科・コース	こども保育科	授業 形態	講義	総時間 (単位)	15(1)	開講区分 曜日・時限
教員の略歴	東北大学大学院博士課程修了、小学校高教諭・山形大学付属幼稚園勤務後大学の講師を経て、平成25年から現在まで宮城教育大学にて勤務。						
授業の学習内容	はじめに、保育における領域「環境」の役割を学ぶ。次に、子どもが何を体験することが重要なのかを理解するために、学生自身が自然と触れ合うことの楽しさを体験する。その後、子どもが身近なものを取り入れ、生活しようとする環境を設定するために必要な技術を身につける。						
到達目標	<p>保育における「環境」とは、自然のみを意味しているのではない。保育における「環境」とは、子どもを取り巻くもの全てである。子どもが様々な「環境」に好奇心や探求心をもって関わり、それらを生活に取り入れようとすることの大切さを理解し、説明できるようになることをねらいとする。</p> <p><具体的な目標></p> <ul style="list-style-type: none"> ・「環境」と他領域の関わりを理解した上で、領域「環境」の全体構造を説明できる。 ・「環境」のねらいを達成するために必要な遊びを計画できる。 ・「環境」と小学校以降の教科等とのつながりを説明できる。 						
評価方法と基準	<p>定期試験(40%) レポート(30%) 課題成果(30%)</p>						

授業計画・内容							
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習	時間外学習(学習課題)		
1	6月4日	オンライン講義	教育要領・保育指針における環境のねらいと内容について理解する				
2	6月11日	オンライン講義	領域「環境」の保育計画と指導、その展開について理解する		配布資料の復習をする		
3	6月18日	オンライン講義	自然とのふれあいが生み出す学びについて学ぶ		配布資料の復習をする		
4	6月25日	オンライン講義	アートの環境とモノとの対話、学びについて学ぶ		配布資料の復習をする		
5	7月2日	オンライン講義	象徴遊びが非認知スキルに与える影響とその実際について理解する		配布資料の復習をする		
6	7月9日	オンライン講義	地域社会の教育資源の活用について学ぶ		配布資料の復習をする		
7	7月16日	オンライン講義	環境がアフォードする幼児の動きについて学ぶ		配布資料の復習をする		
8	7月30日	オンライン講義	試験/解説		試験解説の内容を理解する		
9							
10							
11							
12							
13							
14							
15							
準備学習 時間外学習			配布資料の復習をする				
【使用教科書・教材・参考書】 □							
授業中に適宜資料を配布							

科目名 (英)	ピアノ実技 (Piano practical skill)		必修 選択	必修	年次	1	担当教員	富樫範子
	学科・コース	こども保育科	授業 形態	演習	総時間 (単位)	60 4	開講区分	前期
教員の略歴	国立音楽大学卒業後、幼稚園教諭、知的障害者施設の音楽講師を務める。							
授業の学習内容	音楽の基本的な知識を理解し、表現する技術を養う。							
到達目標	保育現場において子ども達の音楽活動を適切に導くために必要な知識・技術を習得する。							
評価方法と基準	授業内評価(20%) 課題の到達度(40%) 実技試験(40%)							

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1	4/9	演習	オリエンテーション(授業の進め方の説明)	歌う、弾くの反復練習と、基本的知識の理解
2	4/22	演習	<div style="display: flex; justify-content: space-around; align-items: center;"> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;"> 基本的な 知識 ・楽典を 理解する ↓ ・コード 進行を理 解する </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;"> 歌う 季節の 歌や生 活の歌 など歌 うこと に慣れ る </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;"> 弾く 指定さ れたピ アノ曲 を演奏 する </div> </div>	歌う、弾くの反復練習と、基本的知識を理解する
3	5/13	演習		歌う、弾くの反復練習と、基本的知識を理解する
4	5/20	演習		歌う、弾くの反復練習と、基本的知識を理解する
5	5/27	演習		歌う、弾くの反復練習と、基本的知識を理解する
6	6/3	演習		歌う、弾くの反復練習と、基本的知識を理解する
7	6/10	演習		歌う、弾くの反復練習と、基本的知識を理解する
8	6/17	演習		歌う、弾くの反復練習と、基本的知識を理解する
9	6/24	演習		歌う、弾くの反復練習と、基本的知識を理解する
10	7/1	演習		歌う、弾くの反復練習と、基本的知識を理解する
11	7/8	演習		歌う、弾くの反復練習と、基本的知識を理解する
12	7/15	演習		歌う、弾くの反復練習と、基本的知識を理解する
13	7/22	演習		実技試験の準備をする
14	7/29	演習	実技試験の準備をする	歌う、弾くの反復練習と、基本的知識を理解する
15	8/26	演習	試験	歌う、弾くの反復練習と、基本的知識を理解する
16	9/23	演習	まとめ	歌う、弾くの反復練習と、基本的知識を理解する
準備学習 時間外学習				
【使用教科書・教材・参考書】 こどものうた100、子どものための音楽表現技術など				

科目名 (英)	ピアノ実技 (Piano practical skill)		必修 選択	必修	年次	1	担当教員	富樫範子
	学科・コース	こども保育科	授業 形態	演習	総時間 (単位)	60 4	開講区分	後期
教員の略歴	国立音楽大学卒業後、幼稚園教諭、知的障害者施設の音楽講師を務める。							
授業の学習内容	音楽の基本的な知識を理解し、表現する技術を養う。							
到達目標	保育現場において子ども達の音楽活動を適切に導くために必要な知識・技術を習得する。							
評価方法と基準	授業内評価(20%) 課題の到達度(40%) 実技試験(40%)							

授業計画・内容						
回数	日程	授業形態	学習内容			準備学習 時間外学習(学習課題)
17	10/14	演習	基本的な 知識 ↓	弾き歌 い 色々な 歌に伴 奏をつ けて歌 う ↓	弾く 指定さ れたピ アノ曲 を演奏 する ↓	歌う、弾くの反復練習と、基本的知識を理解する
18	10/21	演習				歌う、弾くの反復練習と、基本的知識を理解する
19	10/28	演習				歌う、弾くの反復練習と、基本的知識を理解する
20	11/4	演習				歌う、弾くの反復練習と、基本的知識を理解する
21	11/11	演習	アンサン ブル 合唱・合 奏などを 経験する ↓			歌う、弾くの反復練習と、基本的知識を理解する
22	11/18	演習				歌う、弾くの反復練習と、基本的知識を理解する
23	11/25	演習				歌う、弾くの反復練習と、基本的知識を理解する
24	12/2	演習				歌う、弾くの反復練習と、基本的知識を理解する
25	12/9	演習				歌う、弾くの反復練習と、基本的知識を理解する
26	12/16	演習				歌う、弾くの反復練習と、基本的知識を理解する
27	12/23	演習				歌う、弾くの反復練習と、基本的知識を理解する
28	1/7	演習	実技試験の準備をする			歌う、弾くの反復練習と、基本的知識を理解する
29	1/14	演習	実技試験の準備をする			歌う、弾くの反復練習と、基本的知識を理解する
30	1/21	演習	試験・まとめ			歌う、弾くの反復練習と、基本的知識を理解する
準備学習 時間外学習						
【使用教科書・教材・参考書】 こどものうた100、子どものための音楽表現技術など						

科目名 (英)	教材研究・制作 (Materials Research and Production)		必修 選択	必修	年次	1	担当教員	土屋 高志
	学科・コース	こども保育	授業 形態	演習	総時間 (単位)	60 4	開講区分	前期 水曜1.2限
教員の略歴	幼稚園教諭・保育士・支援学校教員・人形劇団代表・おもちゃコンサルタント・児童館職員・専門学校講師							
授業の学習内容	既製の保育教材、保育教材としてのおもちゃ、身近なものや自然物、そこから作る手作りおもちゃや壁面装飾などなど、実際に触れて遊んだり作ったりしていく。 後半は児童文化財でもある人形劇を体験し製作する。その中で、学生同士、話し合い、保育を考えていく。							
到達目標	乳幼児の成長発達を助ける保育教材にはどんなものがあるかを知ったり、実際に体験することで、保育現場で保育のねらいや活動にふさわしい教材を選択したり制作したりできるようになっていく。							
評価方法と基準	1) 制作物・制作実技30% 2) 授業内評価70%							

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1	6月3日	講義と演習	オリエンテーション	講義の内容を理解する
2	6月10日	講義と演習	布で遊ぶことができる	講義の内容を理解する
3	6月10日	講義と演習	布で遊ぶことができる	講義の内容を理解する
4	6月17日	講義と演習	紙で遊ぶ/牛乳パックで遊ぶことができる	講義の内容を理解する
5	6月17日	講義と演習	紙で遊ぶ/牛乳パックで遊ぶことができる	講義の内容を理解する
6	6月24日	講義と演習	ビニール袋で遊ぶことができる	講義の内容を理解する
7	6月24日	講義と演習	ビニール袋で遊ぶことができる	講義の内容を理解する
8	7月1日	講義と演習	紙袋で遊ぶことができる	講義の内容を理解する
9	7月1日	講義と演習	紙袋で遊ぶことができる	講義の内容を理解する
10	7月8日	講義と演習	紙コップで遊ぶことができる	講義の内容を理解する
11	7月8日	講義と演習	紙コップで遊ぶことができる	講義の内容を理解する
12	7月15日	講義と演習	飛ばしてあそぶことができる	講義の内容を理解する
13	7月15日	講義と演習	飛ばしてあそぶことができる	講義の内容を理解する
14	7月22日	講義と演習	回して遊ぶことができる	講義の内容を理解する
15	7月22日	講義と演習	回して遊ぶことができる	講義の内容を理解する
準備学習 時間外学習				
【使用教科書・教材・参考書】 □				
授業内で資料を配布				

科目名 (英)	教材研究・制作	必修 選択	必修	年次	1	担当教員	土屋 高志
	(Materials Research and Production)	授業 形態	演習	総時間 (単位)	60 4	開講区分	前期 水曜1.2限
学科・コース	こども保育						
教員の略歴	幼稚園教諭・保育士・支援学校教員・人形劇団代表・おもちゃコンサルタント・児童館職員・専門学校講師						
授業の学習内容	既製の保育教材、保育教材としてのおもちゃ、身近なものや自然物、そこから作る手作りおもちゃや壁面装飾などなど、実際に触れて遊んだり作ったりしていく。 後半は児童文化財でもある人形劇を体験し製作する。その中で、学生同士、話し合い、保育を考えていく。						
到達目標	乳幼児の成長発達を助ける保育教材にはどんなものがあるかを知ったり、実際に体験することで、保育現場で保育のねらいや活動にふさわしい教材を選択したり制作したりできるようになっていく。						
評価方法と基準	1) 制作物・制作実技30% 2) 授業内評価70%						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1	7月29日	講義と演習	アナログおもちゃで遊ぶことができる	講義の内容を理解する
2	7月29日	講義と演習	アナログおもちゃで遊ぶことができる	講義の内容を理解する
3	8月5日	講義と演習	自然物で遊ぶことができる	講義の内容を理解する
4	8月5日	講義と演習	自然物で遊ぶことができる	講義の内容を理解する
5	8月17日	講義と演習	人形劇を観る	講義の内容を理解する
6	8月17日	講義と演習	人形劇を観る	講義の内容を理解する
7	8月19日	講義と演習	人形劇と子どもの反応と保育を考察する	講義の内容を理解する
8	8月19日	講義と演習	人形劇と子どもの反応と保育を考察する	講義の内容を理解する
9	8月26日	講義と演習	人形劇で遊ぶことができる	講義の内容を理解する
10	8月26日	講義と演習	人形劇で遊ぶことができる	講義の内容を理解する
11	9月23日	講義と演習	人形劇を演ずる 1	講義の内容を理解する
12	9月23日	講義と演習	人形劇を演ずる 1	講義の内容を理解する
13	9月30日	講義と演習	人形劇を演ずる 2	講義の内容を理解する
14	9月30日	講義と演習	人形劇を演ずる 2	講義の内容を理解する
15	9月30日	講義と演習	人形劇を演ずる 2	講義の内容を理解する
準備学習 時間外学習				
【使用教科書・教材・参考書】 □				
授業内で資料を配布				

科目名 (英)	ふれあい実習 (Friendship Training)	必修 選択	必修	年次	1	担当教員	増永那津美
		授業 形態	演習	総時間 (単位)	60 (4)	開講区分	通年 (前期)
学科・コース	こども保育科						
教員の略歴	仙台市公立保育士、認定こども園保育教諭、仙台医健・スポーツ&こども専門学校専任教員						
授業の学習内容	<ul style="list-style-type: none"> ・子どもとの関わりに必要な、保育者としての心構え、身だしなみ、技術について学習する。 ・実習の役に立つ教材を制作する。 						
到達目標	子どもとの関わりに向けた様々な準備をしっかりと行い、実際に関わることで実践力を身につけることを目標とする。						
評価方法と基準	<ul style="list-style-type: none"> ・定期テスト…40% ・授業内評価…60% 						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1	5/11	オンライン講義	オリエンテーション・実習について学ぶ	学んだことを理解する
2	5/21	オンライン講義	オリエンテーション・実習について学ぶ	学んだことを理解する
3	5/28	オンライン講義	オリエンテーション・実習について学ぶ	学んだことを理解する
4	6/5	演習	オリエンテーション・実習について学ぶ	学んだことを理解する
5	6/26	講義	エフロンにつける名札を制作することができる	学んだことを理解する
6	7/3	実習	エフロンにつける名札を制作することができる	学んだことを理解する
7	7/10	講義	エフロンにつける名札を制作することができる	学んだことを理解する
8	7/17	演習	観察実習の心構え・注意事項を理解することができる	学んだことを理解する
9	7/31	演習	観察実習の心構え・注意事項を理解することができる	学んだことを理解する
10	8/7	演習	観察実習の心構え・注意事項を理解することができる	学んだことを理解する
11	8/20	実習	保育園にて観察実習を行い、乳幼児の姿を観察することができる	学んだことを理解する
12	8/27	講義	観察実習の振り返りを行い、課題を見つけることができる	学んだことを理解する
13	8/29	講義	エフロンシアターについて知識を深めることができる	学んだことを理解する
14	8/29	演習	エフロンシアターを制作することができる	学んだことを理解する
15	9/17	演習	エフロンシアターを制作することができる	学んだことを理解する
16	10/13	実習	保育園にて観察実習を行い、乳幼児の姿を観察することができる	学んだことを理解する
準備学習 時間外学習				
【使用教科書・教材・参考書】 □ エフロンシアターセット				

科目名 (英)	ふれあい実習 (Friendship Training)		必修 選択	必修	年次	1	担当教員	増永那津美
	学科・コース	こども保育科	授業 形態	演習	総時間 (単位)	60 (4)	開講区分 曜日・時限	通年 (後期)
教員の略歴	仙台市公立保育士、認定こども園保育教諭、仙台医健・スポーツ&こども専門学校専任教員							
授業の学習内容	<ul style="list-style-type: none"> ・子どもとの関わりに必要な、保育者としての心構え、身だしなみ、技術について学習する。 ・実習の役に立つ教材を制作する。 							
到達目標	子どもとの関わりに向けた様々な準備をしっかりと行い、実際に関わることで実践力を身につけることを目標とする。							
評価方法と基準	<ul style="list-style-type: none"> ・定期テスト・・・40% ・授業内評価・・・60% 							

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
17	10/20	演習	エプロンシアターを制作することができる	学んだことを理解する
18	11/10	実習	保育園にて観察実習を行い、乳幼児の姿を観察することができる	学んだことを理解する
19	11/17	演習	エプロンシアターの発表練習をし、演ずる歳のポイントを意識することができる	学んだことを理解する
20	11/24	演習	エプロンシアターを演ずることができる	学んだことを理解する
21	12/8	演習	エプロンシアターを演ずることができる	学んだことを理解する
22	12/15	実習	保育園にて観察実習を行い、乳幼児の姿を観察することができる	学んだことを理解する
23	12/22	講義	パネルシアターについて学ぶことができる	学んだことを理解する
24	1/12	演習	パネルシアターを制作することができる	学んだことを理解する
25	1/19	演習	パネルシアターを制作することができる	学んだことを理解する
26	1/26	演習	パネルシアターを制作することができる	学んだことを理解する
27	1/26	実習	保育園にて観察実習を行い、乳幼児の姿を観察することができる	学んだことを理解する
28	2/2	演習	パネルシアターの発表練習をし、演ずる歳のポイントを意識することができる	学んだことを理解する
29	2/2	演習	パネルシアターを演ずることができる(試験)	学んだことを理解する
30	2/9	演習	パネルシアターを演ずることができる(試験)	学んだことを理解する
準備学習 時間外学習				
【使用教科書・教材・参考書】 <input type="checkbox"/>				

科目名 (英)	各種特化科目 子どもクッキング (Kids Cooking)	必修 選択	必修	年次	1年	担当教員	花澤文乃
		授業 形態	演習	総時間 (単位)	30 (2)	開講区分 曜日・時限	後期
学科・コース	子ども保育科						
教員の略歴	盛岡大学短期大学部食物栄養科卒業後、県内調理師養成施設で日本料理実習、総合調理実習の講師を務める						
授業の学習内容	<ul style="list-style-type: none"> 子ども保育に携わる食育と子供のもつアレルギーに関する知識と対応力を身に着ける。 大人と子供が一緒にできるクッキングのレパートリーやアイデアを身に着ける。 						
到達目標	子どもの安全を確保しつつ食に関する美味しさと喜びを伝えられる指導力を養う。						
評価方法と基準	授業内評価 60% レポート 40%						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1	10月21日	演習	ウェルカムパーティーを開く	学んだことを理解する
2	10月21日	演習	ウェルカムパーティーを開く	学んだことを理解する
3	10月28日	演習	スイートポテトを製作する	学んだことを理解する
4	10月28日	演習	スイートポテトを製作する	学んだことを理解する
5	11月4日	演習	餃子の皮で卵なしキッシュを製作する	学んだことを理解する
6	11月4日	演習	餃子の皮で卵なしキッシュを製作する	学んだことを理解する
7	11月11日	演習	積み木風サンドウィッチを製作する	学んだことを理解する
8	11月11日	演習	積み木風サンドウィッチを製作する	学んだことを理解する
9	11月18日	演習	甘いクッキー&野菜クラッカーを製作する	学んだことを理解する
10	11月18日	演習	甘いクッキー&野菜クラッカーを製作する	学んだことを理解する
11	11月25日	演習	お食事クレープ&おやつクレープを製作する	学んだことを理解する
12	11月25日	演習	お食事クレープ&おやつクレープを製作する	学んだことを理解する
13	12月2日	演習	チョコレートフォンデュパーティーを製作する	学んだことを理解する
14	12月2日	演習	チョコレートフォンデュパーティーを製作する	学んだことを理解する
15	12月9日	演習	ロリポップチョコレートを製作する	学んだことを理解する
準備学習 時間外学習				
【使用教科書・教材・参考書】 □				

科目名 (英)	レクリエーション (Recreation)	必修 選択	必修	年次	1	担当教員	鈴木 裕也
	学科・コース	こども保育科	授業 形態	演習	総時間 (単位)	30 (2)	開講区分 曜日・時限
教員の略歴	忍者ナイン指導者(幼児体操教室)						
授業の学習内容	将来スポーツに携わる人材として、自分自身の体力の維持増進を目標とし、生涯を通じて継続的に、かつ協力的に運動を実践するための知識や態度を養うことによって、明るく豊かで、心身ともに健康な生活を営むための知識を実践交えて学ぶ。また、レクリエーションの概念を理解し、人とのコミュニケーションの取り方や初対面の人との関わり方などの基礎を体験を踏まえ学ぶ。						
到達目標	<ul style="list-style-type: none"> ・アイスブレイクとは何かを学ぶ。 ・ゲームプログラムの組み方を学ぶ。 ・スムーズにコミュニケーションを取るための言葉がけの仕方を学ぶ。 ・指導案の作成の仕方を学ぶ。 						
評価方法と基準	授業内評価(20%)、レポート(50%)、指導案(10%)、実技試験(20%)						

授業計画・内容					
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習	時間外学習(学習課題)
1	12月16日	演習	オリエンテーションを通してレクリエーションとは何か理解する		
2	12月16日	演習	社会とレクリエーション運動の関係について学ぶ	配布資料の復習	
3	12月23日	演習	レクリエーションの理解と歴史について学ぶ	配布資料の復習	
4	12月23日	演習	レクリエーション支援の理論について学ぶ	配布資料の復習	
5	1月13日	演習	アイスブレイキングについて学ぶ	配布資料の復習	
6	1月13日	演習	アイスブレイキングについて学ぶ	配布資料の復習	
7	1月20日	演習	ニュースポーツについて学ぶ	配布資料の復習	
8	1月20日	演習	ニュースポーツについて学ぶ	配布資料の復習	
9	1月27日	演習	ニュースポーツについて学ぶ	配布資料の復習	
10	1月27日	演習	ニュースポーツについて学ぶ	配布資料の復習	
11	2月3日	演習	野外活動について学ぶ	配布資料の復習	
12	2月3日	演習	野外活動について学ぶ	配布資料の復習	
13	2月24日	演習	レクリエーションゲームの指導案を作成する	配布資料の復習	
14	2月24日	演習	レクリエーションゲームの指導案を作成する	配布資料の復習	
15	3月3日	演習	実技テスト	配布資料の復習	
準備学習 時間外学習			配布資料の復習		
【使用教科書・教材・参考書】 □					
適宜資料を配布する					

科目名 (英)	子どもの身体表現 (Children's Physical Expression)	必修 選択	必修	年次	1	担当教員	笹氣 真歩
学科・コース	こども保育科	授業 形態	演習	総時間 (単位)	30 (2)	開講区分	後期 金曜3限
教員の略歴	リトミック研究センター宮城第一支局リズム講師、専門学校にてリトミック指導歴15年						
授業の学習内容	年齢別のリトミックを体験し、カリキュラムをたてる。実習及び卒業後に使うスキルとして、授業内ティーチングを経験。						
到達目標	<ul style="list-style-type: none"> ・年齢別、発達段階にあわせたカリキュラムを作成することができる。 ・自分で組み立てたカリキュラムをもとに、ティーチング発表することができる。 ・こどもに伝えるためにはどんな工夫が必要か考え、お互いの指導内容に意見することができる。 						
評価方法と基準	授業内評価(出席数・ティーチング実技演習含む)70%、定期試験30%						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1	10月2日	演習	リトミックを体験し理解する	授業の内容を理解する
2	10月9日	演習	年齢別リトミック体験を通しできる動作を理解する(3歳)	授業の内容を理解する
3	10月16日	演習	年齢別リトミック体験を通し、できる動作を理解する(4歳)	授業の内容を理解する
4	10月23日	演習	年齢別リトミック体験を通し、できる動作を理解する(5歳)	授業の内容を理解する
5	10月30日	演習	年齢別リトミック体験を通し、できる動作を理解する(1歳2歳)	授業の内容を理解する
6	11月6日	演習	テーブルリトミック(春)の体験を理解する	授業の内容を理解する
7	11月6日	演習	テーブルリトミック(夏)の体験を理解する	授業の内容を理解する
8	11月13日	演習	テーブルリトミック(秋)の体験を理解する	授業の内容を理解する
9	11月13日	演習	テーブルリトミック(冬)の体験を理解する	授業の内容を理解する
10	11月20日	演習	テーブルリトミック(イベント)を使ってカリキュラムを作成する	発表にむけて準備学習あり
11	11月20日	演習	ティーチング発表をすることができる	制作物など準備学習あり
12	11月27日	演習	ティーチング発表をすることができる	制作物など準備学習あり
13	11月27日	演習	ティーチング発表をすることができる	制作物など準備学習あり
14	12月4日	演習	スキップ・ギャロップ・リズムステップができる	授業の内容を理解する
15	12月4日	演習	リトミックのなりたちとリズムステップができる	自分の考えを述べる設問あり
準備学習 時間外学習		ティーチング発表に向け、制作物など準備学習あり		
【使用教科書・教材・参考書】 □ どこでもできるテーブルリトミック				

科目名 (英)	資格取得科目 障がい者スポーツ初級指導員講座 (Training for the Disabilities)		必修 選択	選択	年次	1	担当教員	佐藤一樹
	学科・コース	こども保育科	授業 形態	演習	総時間 (単位)	30 (2)	開講区分	後期 月曜 1・2限
教員の略歴	仙台大学大学院修士課程修了、pyq@ed上級使用が医師や福祉センター副所長、障がい者スポーツ指導員、障がい者フライングディスク第1種審判員							
授業の学習内容	「初級障がい者スポーツ指導員」養成講習会での講習科目に沿い、障がい者福祉施策と障がい者スポーツ、ボランティア論、障がい者スポーツの意義と理念、安全管理、障がいの理論とスポーツ、公認障がい者スポーツ指導者制度、全国障害者スポーツ大会の概要、障がいに応じたスポーツの工夫・実施、障がい者との交流について学習し、説明・実践ができるようになる。							
到達目標	「初級障がい者スポーツ指導員」として認定される。 障がい者の基本内容を理解し、スポーツの導入に必要な基本的知識・技術を身につけ、実践にあたっては、健康や安全管理を重視したしどろができる。さらに、地域の大会や行事に参加すると共に、指導員組織の事業にも積極的に参加するなど地域の障がい者スポーツの振興を支えることができる。							
評価方法と基準	1) 定期テスト30% 2) 授業内評価30% 3) 実技演習30% 4) ボランティア意欲10% ※その他、障がいに応じたスポーツ・レクリエーションの工夫について加味します。							

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1	10/5	演習	障がい者の福祉施策と 障がい者スポーツについて説明できる	学んだことを振り返る
2	10/5	演習	ボランティア論について説明できる ～視覚障害者スイマー～	学んだことを振り返る
3	10/12	演習	障がい者スポーツの意義と 理念について説明できる	学んだことを振り返る
4	10/12	演習	障がいの理解とスポーツ：身体障害 ウイニングパス を体験する	学んだことを振り返る
5	10/19	演習	障がいに応じたスポーツの 工夫・実施ができる(1)	学んだことを振り返る
6	10/19	演習	障がいに応じたスポーツの 工夫・実施ができる(2)	学んだことを振り返る
7	10/26	演習	障がい者との交流をする	学んだことを振り返る
8	10/26	演習	障がい者の理解とスポーツ：視覚障害	学んだことを振り返る
9	11/2	演習	安全管理ができる	学んだことを振り返る
10	11/2	演習	全国障がい者スポーツ大会の 概要が説明できる	学んだことを振り返る
11	11/9	演習	障がいの理解とスポーツ：精神障害 バレーボール を体験する	学んだことを振り返る
12	11/9	演習	障がいの理解とスポーツ：脳性麻痺 ポッチャ を体験する	学んだことを振り返る
13	11/16	演習	障がい者スポーツ指導者制度 について説明できる	学んだことを振り返る
14	11/16	試験	定期試験	試験勉強を行う。
15	11/30	演習	試験解説	解説内容をノートにまとめる。
準備学習 時間外学習			学んだことを振り返る。	
【使用教科書・教材・参考書】 □				
授業内配布資料				